

広報

# ただみ

3  
2014 月号  
No. 526  
平成26年3月10日

第42回

只見ふるさとの雪まつり..... 2~5

6次産業化の現場から -佐藤泉太さん-..... 6~7

ユネスコエコパーク関連先行事業の実施報告.. 8~9

災害時における相互応援協定 他..... 10~11

町の話..... 12~13

自然

ぼく「ブナリン」

はじめまして

会議長様

会議長様



雪がふるたび 来たくなる…

第42回

# 只見ふるさとの雪まつり





只見町最大のイベント「只見ふるさとの雪まつり」は2月8、9日の2日間に渡り開催され、期間中2万3千人の方が訪れました。開催期間中は県内外の記録的な降雪により交通機関等に支障が出たためか昨年よりは来客数は下回ったものの、会場ではさまざまなイベントが行われ盛り上がり9日には天候に恵まれ綺麗な花火を打ち上げる事が出来ました。

今年の会場はユネスコエコパーク登録を目指す只見町にとって関係の深いユネスコ本部にあるバリ「オペラ座」を大雪像に入場門は「凱旋門」が製作されました。

また、開会式では只見町のキャラクターの完成お披露目を行い、キャラクター名は応募総数368件の中から同名応募数が7件あった「ブナりん」に決定され応募要項（同名複数場合は抽選）により、採用者は只見町の五十嵐成人さんとなりました。

次のページからは雪まつりの様子を写真で紹介します。



**1** 祈願花火大会（エコパーク祈願花火・町民打上）  
**2** 今年の入場門「凱旋門」 **3** ライトアップされ幻想的な大雪像「オペラ座」 **4** 開会式で完成お披露目された町のキャラクター「ブナりん」 **5** 「ブナりん」をデザインされたおちゃっぴさん **6** 「ブナりん」早くも子供たちに大人気 **7** お披露目にあわせて開催され好評だった粘土教室



2



1



3

①開会式での鏡開きのようす ②多くの方が詰めかけた鳥羽一郎さんのライブステージ。鳥羽さんは寒空の中 11 曲を熱唱 ③天領只見仙嶽太鼓は素晴らしい演奏を披露 ④雪中大神輿は会場内を勇ましく練り歩きました ⑤厄払いの儀で巫女さんとなった雪むすめ ⑥入場門から厄年の皆さんが一斉に登場 ⑦御家内安全・無病息災・ご商売繁盛を祈願しての餅まき



5



4



7



6



9



8



11



10



13

8 今年は只見伝統の味「熊汁」がゆきんこ市で復活 9 吉本芸人の皆さんは会場を爆笑の渦に包みました  
 10 白熱したゲームイベント「スノーラッグス」 11 雪むすめと記念撮影  
 12 昨年に引き続き川原彰さんによる楽しい大道芸 13 こちらも2年目、あつけらかんは楽しいマジック漫オショーを披露  
 14 「GABEZ(ガベジ)」によるダンス&サイレントコメディーは観客を魅了  
 15 ステージでは「只見の伝統」小林早乙女保存会による神楽も披露



12



15



14

# どぶろくの製造・販売

## 「やまかのうや 佐藤 泉太さん」

みなさんは「6次産業化」という言葉をご存じでしょうか？

6次産業化とは地域の農林水産物を活用して生産(1次産業)から加工(2次産業)、流通・販売等(3次産業)をビジネスとして行う事です。

町では6次産業化を応援する補助制度を行っており、ここでは今年度この補助制度を活用頂いた佐藤泉太さんにインタビューをさせて頂きましたので皆さんにご紹介したいと思います。



▲ラベルの似顔絵

平成17年「どぶろく特区」に認定された只見町で唯一どぶろくの製造・販売をおこなっている。また、「民宿 やまかのうや」を営み、お米の販売なども行う。

取材当日は体調不良を理由にマスクを外して貰えませんでした。どぶろくのラベルの似顔絵にそっくりです。

「町の補助金制度でどのような整備を行いましたか？」

どぶろくの販路を拡大するためPRポスターや化粧箱を作りました。また、どぶろくをもっとたくさん作れるようにタンクや冷蔵庫も整備しました。

「作っているどぶろくの一番の売りは何ですか？」

お米の生産からどぶろくの製造までを一生懸命行っているところ、うところが売りですかね。どぶろくは、お米と米麴で作る昔ながら



▲現在製造・販売している商品

「おすすめの商品はありますか？」

甘口と辛口がありますが、お酒

の方法で一人で作っていて、お客さんにお届け出来るまでには約3週間かかります。どぶろくを作り始めた頃は、「火入れをしていない生のどぶろく」を冷凍パックで販売していましたが、1年程前から「火入れをした瓶詰めのだぶろく」の販売も始めました。火入れをする事で発酵が止まり、常温で発酵が進んで容器が破裂する心配が無くなります。これにより持ち運ぶ際の管理も楽になりました。目も瓶詰めの方が良いので、今は瓶のどぶろくが売れていますね。

「どぶろくを作るのに一番苦労していることや気をつけていることはありますか？」

「どぶろくを作るのに一番苦労しているのは、環境によって作るたびに味が変わってしまうので温度調整などに気を使う事です。品質を一定にして皆さんが飲みやすいどぶろくを作れるように日々努力しています。」

「今後の展望などお聞かせ下さい。」

「お米の販売も行なっています。風評被害でお米の注文してくれなくなったお客さんもいるのが現状です。しかし、今は「どぶろ

く」を沢山作りたいと考えています。

忙しくて今まではなかなか販売まで手が回らなかつたですが、生産量を増やし販売も行えればと思います。

また、将来的にはどぶろく使ったスイーツなども作ればと考えています。

泉太さんにはどぶろくを作るご苦労など、お忙しいところ笑顔でインタビューに答えて頂きました。

この只見産のどぶろくをお土産として、また特別な日に飲むお酒としてぜひご賞味頂ければと思います。



▶美味しく飲むにはよく冷やして飲むのが一番の事  
瓶は半年間は冷蔵保存できます

ここでは、今年度只見町で行いました6次産業起業家応援事業及び産業振興対策事業の利用実績についてお知らせいたします。

### 6次産業起業家応援事業補助金

新たに6次産業を起業する方に対して、加工品の開発、加工施設・機械、販売施設、提供施設を整備する事業への補助金制度です。補助限度額は100万円で加工品開発事業は補助率10分の8、それ以外は10分の7となります。

事業	事業概要	事業申請者
加工施設・機械整備	餅米を加工するために必要な機械の整備	下福井 酒井 右一 さん
加工施設・機械整備	地元産そばをそば粉に加工するために必要な機械の整備	杉沢 星 正一 さん
加工品開発	どぶろくのポスターや箱などの製作	やまかのうや
加工施設・機械整備機械整備	どぶろく製造に必要な機械の整備	佐藤 泉太 さん
加工施設・機械整備	地元の野菜や山菜等を乾燥・加工するために必要な機械の整備	ヤマサ商店 佐藤 弘 さん
加工施設・機械整備	只見産コシヒカリを米粉麺に加工するために必要な機械の整備	伊南川農園 山内 征久 さん

### 産業振興対策事業補助金

産業振興基本構想(農業・観光・商工業の機能的結びつき)に基づき、産業振興を図る為に事業を行う方への補助制度です。具体的には特産品の加工や地産地消関連、体験交流型農業などの事業となります。補助限度額は100万円で補助率は70%以内(体験交流型農業は80%以内)となっています。

事業	事業概要	事業申請者
産業おこし支援対策事業 (体験交流型農業)	農家民宿の振興による産業創出	只見子ども農家 体験協議会会長 新国 秀一 さん
産業おこし支援対策事業 (体験交流型農業)	水道滅菌機導入による農家民宿の登録	坂田 長谷川 秋子 さん
産業おこし支援対策事業 (体験交流型農業)	水道滅菌機導入による農家民宿の登録	坂田 馬場 正一 さん

上記の補助事業は次年度も実施予定です。募集はおしらせばなどで行う予定ですので産業振興や6次産業化を検討されている方はぜひご活用下さい。

# 平成25年度 ユネスコエコパーク関連先行事業の実施報告!!

現在、只見町は人間社会と自然環境の共生を実現するモデル地域であるユネスコエコパーク(ユネスコ MAB 計画の生物圏保存地域)という国際的な制度を活用し、町づくりに取り組んでいます。その町づくりの方向性とは、この地域の豊かで貴重な自然環境・生物多様性を保護・保全し、次世代へと引き継いでいくとともに、そこで育まれた資源を持続可能な形(現代世代が、将来世代の欲求や利益を損なわない形)で利活用することにより地域の社会経済的な発展を目指すものです。これを実現するため、登録前から先行してユネスコエコパーク関連事業を実施しています。この関連事業は、ユネスコエコパークの3つの目標である①自然環境・生物多様性の保護・保全、②資源を持続可能な形で利活用した地域の社会経済的な発展(産業振興)、③学術調査研究、人材育成に沿った内容となっています。ここに平成25年度に実施した関連事業を報告します。

なお、只見町のユネスコエコパークへの取り組みは、登録による財源や観光客の増加など棚ボタ式なものを期待するものではありません。人と自然との共生を目指すユネスコエコパークの理念に則り、この地域の自然環境とそれらを拠り所とした伝統的な生活、文化、産業、歴史を活かした町づくりを地道に着実に計画、実施していくことで只見町のブランド化を図り、地域活性化につなげるのが狙いです。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## ①自然環境・生物多様性の保護・保全

### ■自然観察指導員の育成講座(平成 25 年 7 月 13 日、14日)

公益財団法人日本自然保護協会と只見町の共催で、自然観察会の開催などを通して自然保護教育を実践者する「自然観察指導員」を養成する講習会を開催しました。当日は、町外から21名、町内から10名が参加しました。受講者には、自然環境を理解するための自然観察会の実施や自然保護の考え方を町内に広めてもらうことが期待されます。



▲「森林の分枝ふざわ」での講習会

### ■ただみ観察の森の整備

只見町の豊かで貴重な自然環境を町内外の方により身近に気軽に接してもらうため、車道からアクセスしやすく、町の特徴的な森林を「ただみ観察の森」として指定、整備しました。指定に際しては、区の協力をいただいて歩道の整備を行い、現在6つの森が指定されています。



▲下福井区のブナ林の歩道整備

### ■その他：巨樹・巨木の保全

(黒沢区薪平および旅行村のコナラあがりこ林に対するナラ枯れ防除)



## ②資源を持続可能な形で利活用した地域の社会経済的な発展(産業振興)

### ■只見町公認自然ガイドの更新・新規認定(平成25年8月31日、9月1日)

エコツーリズムは、地域の自然環境やそれを拠り所にした生活・文化・歴史など、地域固有の魅力を来訪者に伝えることにより、その価値や大切さの理解を促し、保全につなげていく仕組みです。これを推進する只見町公認自然ガイドの認定更新及び新規認定のため、新潟大学准教授の本間航介氏を講師とした研修を2日間に渡り実施し、16名のガイドが認定されました。



▲ユビソヤナギ林での現地研修

### ■「自然首都・只見」伝承産品ブランド化補助金

只見町の天然資源や農産物資源を原料に、伝統技術を使って加工した産品の技術継承、開発、販売に取り組む事業者に対して、技術伝承、品質の向上、パッケージの作成を支援する事業を実施しました。今年度は、山採り乾燥ぜんまい、凍み餅、ニホンミツバチの蜂蜜、たぐり飴、つる細工、木工品等に取り組む事業者に対して助成しました。「自然首都・只見」のブランド化と地場産業の育成・発展が期待されます。



▲乾燥ぜんまい、わらび、うるい

### ■その他：森林認証制度による森林づくり(広報ただみ：2014年2月号掲載)

## ③学術調査研究・人材育成

### ■在来イワナ生息地調査

絶滅の危惧に瀕している只見町の在来イワナ(ニッコウイワナ)の保護・保全を図るため、町内の河川について、生息状況を委託調査しました。数河川で、在来イワナの生息が確認されています。



▲保護・保全が求められるニッコウイワナ

### ■ユネスコスクール登録への支援

町内各教育機関は、世界中の学校との交流を通じ、情報や体験を共有し、地球規模の諸問題に若者が対処できるように新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すことを目的とするユネスコスクールへの登録を目指しています。そうした活動を支援するため、町内小中学校へ国内ユネスコエコパークの関連図書を提供しました。



▲朝日小学校での引き渡し式

### ■その他：「自然首都・只見」学術調査助成金事業(広報ただみ：2014年2月号掲載)

## 災害時相互応援協定を締結



▲固い握手を交わし今後の交流・連携を誓う



▲協定を締結した両郡町村長の皆さん

1月30日、町は「災害時における相互応援に関する協定」を南会津郡3町村と西白河郡4町村（矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村）および新潟県三条市とそれぞれ締結しました。

南会津郡、西白河郡の郡同士での協定締結は県内初で災害時に人員や物資の支援を行うほか、協議会を設置し、毎年定例会を開き情報交換や訓練を行う予定です。

また、三条市と只見町は国道289号関連事業ですでに様々な交流を図っておりますが、災害対応での連携もしようという考えから南会津郡4町村と三条市が生活必需品の提供や住民の避難受け入れなどを盛り込んだ協定を締結しました。

この協定を契機に国道289号の早期開通やさらなる交流が図られることが期待されます。



▲塚田主査が作成された「事務だより」



▲2月4日町長へ受賞報告に来て頂きました

## 朝日小学校塚田主査 平成25年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞

今年度の文部科学大臣優秀教職員表彰を朝日小学校の塚田玉江主査が受賞されました。

塚田主査は、事務職員として通常業務のほか朝日小学校の経営にも携わられ「事務だより」を発行し、子供たちに物を大切に使うことや節約することについて教えたり、保護者の方には学校の予算がどのように使われているのかを分かるようにしました。

また、児童や保護者の方からの意見をしっかりと聞き必要な物品の購入や校舎の修繕などを行うほか、保護者の負担を軽減するため学級費などを効果的に使い会費を返金するなどの取り組みもされました。

塚田主査には町や学校、子供たちや保護者の方のために本当に様々な事に取組んでいたいただきその事が今回評価され優秀教職員として表彰されました。

## これから健康な食事を 只見高校生へレシピブック

1月30日、只見高校3年生へ自分自身で食事作りをするためのレシピブックを配布しました。これは只見町を出て、新しい生活を始める生徒が、3食きちんと食べ、健康的な生活が送れるように只見町食生活改善推進委員で応援したいという思いから行われたものです。



▲このレシピでぜひ健康的な料理を作って下さい

## 慢性腎臓病の予防法を知る 湯ら里で医療講演会

2月12日、季の里湯ら里で「慢性腎臓病の予防と進行を食い止める方法について」朝日診療所所長の星野弘尊先生が講師となり医療講演会を開催し、約60名の方が参加されました。

星野所長はどうすれば腎臓病を予防できるのかを分かりやすく話され、参加者は自分の生活を振り返りながら熱心に話を聞いているようでした。



▲学んだ予防法はぜひ実践して欲しいと思います

## 只見線復興復旧基金へ サントリー福島支店 雪まつり売上金を寄附

2月28日サントリーピア&スピリッツ福島の渡部支店長が役場を訪れ雪まつり会場に出展したブースの売上金を只見線復旧の為に寄付して頂きました。雪まつり実行委員会はそこに雪まつり会場での募金を加えた十万六千六百六十五円を「福島県只見線復旧復興基金」へ寄付する事とし、寄附贈呈式を同日行い、目黒町長と渡部支店長から佐藤南会津地方振興局長へ寄付金を手渡しました。



▲右から目黒町長、佐藤南会津地方振興局長、渡部支店長

## 平成26年度から 町の組織体制が変わります

2月28日に開催された2月会議で、町の課設置条例の一部改正が可決されました。

このことにより新年度から現在の5課から総務課、総合政策課、町民生活課、保健福祉課、農林振興課、観光商工課、環境整備課の7課体制となります。

また、町地区センター条例の一部も改正され、4月から地区センターは名称が「町振興センター」となり、地域づくりの拠点として住民と行政が協働しより住みよい町をつくるための業務を行います。

詳しくは、次号以降の広報ただみでお知らせします。

## 明 2月3日の節分に 和保育所に鬼が出た!

2月3日の節分の日、明和保育所には赤鬼と青鬼が登場し子供たちは大慌て。

泣いて逃げ回る子や、勇敢に立ち向かう子など様々な子供たちがいましたが、最後には見事に鬼を明和保育所から追い払う事が出来ました。頑張って鬼を追い払えた子供たちには良い1年が訪れる事でしょう。



▲みんなで協力して鬼を追い払いました



▲ラリーを続けるお二人は、  
どちらも80歳以上



▲ピンポンクラブの皆さん

## 明 これぞ生涯スポーツ 和ピンポンクラブ

毎週木曜日、明和地区センターのホールからはピンポン玉の弾む音と楽しそうな笑い声が聞こえてきます。これは、冬期講座として1月から卓球が行われており60歳～80歳代の方が毎週気持ちの良い汗を流しているからです。ピンポンクラブの皆さんはほとんど休憩も無く、鋭いスマッシュも打つなど年齢を感じさせない卓球を本当に楽しそうにしています。ぜひこの講座をいつまでも楽しく元気に続けて欲しいです。

## 森 様々なテーマで50回 林の里 ふれあい広場

2月14日、「ふざわ楽しさと元気づくりのみんなの会・布沢区」が主催の森林の里ふれあい広場がふざわ公民館で行われました。健康づくりやレクリエーションなど様々な内容で今回で50回目の開催を迎え、この日は新聞紙などの不要紙を活用し紙袋やバックづくりにチャレンジしました。明和地区センターの町づくり推進員が講師となり、参加した皆さんは熱心に講師の話聞きバック作りに取り組みました。



▲楽しみながらも熱心にバック作りに取り組みました



▲今回作った  
エコバッグは  
こちら



▲今後のさらなる活躍を期待します

## 鈴 目指せ世界大会! 木来菜さん東北大会へ

2月11日に金山スキー場で開催された、福島県スキー連盟主催の「第35回福島県ジュニア・アルペン公認記録会」の10歳以下女子のクラスで只見町スキースポーツ少年団の鈴木 来菜さんが見事3位に入賞し、2月28日から秋田県鹿角花輪スキー場で開催される「第34回ジュニアアルペンスキー東北決勝大会」に出場する事となりました。

この大会は、以前に目黒 岳君が優勝し、カナダのウィスラーカップに参加したこともある大会です。

来菜さんは日頃から、スポーツ少年団での練習等を通じてスキー技術の向上に磨きをかけ、今回3位入賞となりました。

鈴木 来菜さんのほか、同じく東北大会への出場権を獲得した鈴木 道也君、渡部 健太郎君も東北決勝大会へ参加します。

## ブナセンター講座 「只見町の農村歌舞伎」



2月16日、奥会津地方の歌舞伎を研究されている渡部 康人氏(奥会津博物館)をお招きして「只見町の農村歌舞伎」について講演会を行いました。講演の中で渡部氏は、歌舞伎の発祥から現代にいたるまでの歴史、奥会津地方の農村歌舞伎文化とその背景など様々なこととお話しされました。

歌舞伎は出雲の巫女「阿国」による扇情的な芸が発祥なのだそうです。その後、遊女や若衆が演じるようになり人気が出ましたが、江戸時代に風俗が乱れるとして禁止されてしまいます。それでもなんとか歌舞伎を再興するために、扇情的な芸から演劇的な色彩の強いものに転換して、現在の歌舞伎につながっているとのことでした。幕府はその後も歌舞伎に規制をかけたことが、民衆は様々な大義名分を使って歌舞伎を行いました。歌舞伎は全国的に広がり、地方では様々な演劇集団が演じる農村歌舞伎が盛んに行われ、人気を集めました。

南会津地域(南山御倉入地方)は、特に農村歌舞伎が盛んな地域の一つとされています。記録を見ると南会津の中でも只見町は特に歌舞伎が盛んだったそうで、布沢集落の若宮八幡宮をはじめ町内各所に舞台がありました。特に、明治に旗揚げされた「朝日座」は有名で、各地で興業して人気を集め、檜枝岐に歌舞伎の指導に行っていた人もいたそうです。また、塩ノ岐には歌舞伎の大きな貸衣装屋があり、その財力の背景にあったのは当時盛んに行われていた麻(アサ)の栽培でした。奥会津地方の歌舞伎の歴史や時代背景、当時の人々の思い、また歌舞伎にのめり込みすぎて昼仕事に精が入らなくなった笑い話など、歌舞伎について様々な知識を深めることができた講演会でした。

南会津地域(南山御倉入地方)は、特に農村歌舞伎が盛んな地域の一つとされています。記録を見ると南会津の中でも只見町は特に歌舞伎が盛んだったそうで、布沢集落の若宮八幡宮をはじめ町内各所に舞台がありました。特に、明治に旗揚げされた「朝日座」は有名で、各地で興業して人気を集め、檜枝岐に歌舞伎の指導に行っていた人もいたそうです。また、塩ノ岐には歌舞伎の大きな貸衣装屋があり、その財力の背景にあったのは当時盛んに行われていた麻(アサ)の栽培でした。奥会津地方の歌舞伎の歴史や時代背景、当時の人々の思い、また歌舞伎にのめり込みすぎて昼仕事に精が入らなくなった笑い話など、歌舞伎について様々な知識を深めることができた講演会でした。



▲貴重なお話を聞く事が出来た講演会でした

# 広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 中曾根 悦子



## 「インフルエンザ」

今回は、インフルエンザの予防、典型的な症状、保育所・学校での出席停止期間、治療についてお話しします。

一番の予防は、予防接種です。どうしても体質・アレルギーなどでできない方以外は、接種をお勧めいたします。ご自身の予防のほか、家族・周囲の方への蔓延を予防できます。予防接種をしても、インフルエンザの感染は防げませんが、発症しても軽く済む、短期間で治癒するなど効果があります。他には、マスクや加湿（目標湿度50〜60%）、手洗い、うがいも有効です。

典型的な症状は、発熱、関節痛、倦怠感、咳などです。ときには、下痢や嘔吐を伴うこともあります。また、ごく稀に呼吸困難や意識障害などを認め、肺炎、脳炎を合併することがあります。熱が出て半日から24時間経過すると、インフルエンザウイルスがある程度増加しますので、検査で診断可能となります。それより前に検査をしてもなかなかウイルス量が十分ではなく、診断が正確にできない可能性があります。

次に、保育所・学校の出席停止期間についてです。学校保健法では、次のように定められています。「発症後5日を経過し、かつ発熱後2日間までは出席を停止とする。さらに、「幼児」については発症後5日を経過し、かつ発熱後3日間までは出席停止」とします。

発症後5日とは、症状がでたその日は含まず、翌日を第1日目とカウントします。解熱後についても、熱が下がったその日は含まず翌日からカウントしてください。感染拡大を防ぐ目的で、職場もこれに準ずることとなる

かと思っています。治療は、飲み薬、吸入薬、点滴の抗インフルエンザ薬や漢方薬があります。抗インフルエンザ薬は、ウイルスをやっつけるのではなく増殖を抑える効果があります。従って、発症48時間以内に服用することで症状の持続期間を短縮しますが、それ以外の効果はあまり証明されていません。また、特に10歳代の未成年者には、異常行動等の副作用の問題もあるため、元来健康な方や、服用の強い希望がない場合は、積極的に抗インフルエンザ薬はお勧めしない流れとなっています。主治医の先生とお話をしたうえで、決めていくことになると思います。

今年度、流行のピークは一旦超えたといわれていますが、もうしばらくは注意しましょう。

## 今月の運動

今月の運動は、肩の周りの筋肉をほぐし、動きを良くするための運動をご紹介します。肩の周りの筋肉が硬くなると、動きが悪くなり、腕があがりにくくなります。硬くなっている状態が長く続くと、肩の関節に負担がかかり痛みの原因にもなります。



①鎖骨に自分の指先をあて、肘を前に向けます。②指先はそのまま、肘を上に向けます。③そのまま肘を横に開き、④ゆっくりと斜め後ろに下ろすように肘を下げていきます。肘を前から上、横、斜め後ろにグルッと回すように動かしてください。ゆっくり5回程度繰り返してみてください。肩こり予防にもなります。

# 町史

とっておきの話

236

福島県立博物館専門員

佐々木 長生

## 町民が生んだ只見の宝「民具」⑥

日本一の民具を  
未来に伝えよう！

民具という言葉は、昭和十年ころ、財界人で民俗学者でもあった渋沢敬三（実業家・渋沢栄一の孫）がつくった造語です。彼は、民具とは「庶民が日常生活の必要から作った身近な道具」であると定義しています。民具は身近な素材を利用して作られるため、その土地の気候や自然環境、生業形態によって違いがみられます。また長い歴史の中の創意・工夫によって作りだされたものであり、私たちの手足の延長としての道具ともいえます。

このようなことから考えると、只見町の民具は、只見の人々が雪・山・川という恵まれた自然環境のなかで長い時間をかけて作りあげてきた民俗文化の結晶といえます。前回まで紹介されてきたように、只見町では早くから民具の収集がおこなわれ保管されてきました。このような事例は全国各地にあります。数多くある民具コレクションのなかでも、只見町の民具が日本一と誇れるものがあります。それは九九〇〇枚にのぼる「民俗資料調査カード」です。これには、一点一点の民具ごとに、名称、寸法、使用方法、思い出などが詳細に書かれています。

調査カードに記入するのは、一般には博物館や資料館・教育委員会などの学芸員が

しています。したがって、その記載内容は聞き取りによって再構成された二次資料です。しかし、只見町では町民自らが記入しているのです。この場合、只見の自然環境で暮らしその生活感覚を持った町民が記入するため、素材や形態、使用方法などについて重要な一次情報が書かれています。これは民具研究のうえで、きわめて学術価値の高いものです。

さらに調査カードに記入する際、一人で記録するのではなく、二〜三人がそれぞれの体験や記憶を自由に箇条書きで記入しています。また、製作方法や使用方法をわかりやすいスケッチにして描いています。これは只見町の調査カードだけにある特色です。記入にあたっては、みんなで談笑しながら思い出を語り合うという雰囲気の中で進められました。五十代から八十代までの人が自ら記入するばかりでなく、集落による名称や使い方の違いなどにも言及して、民具の変遷や地域性もあきらかにしました。

これらの成果は、平成四年、『図説会津只見の民具』という本に結実しました。この本には民具整理にかかわった町民が参加して、民具を使用したり製作したりしている写真が載っています。実際の使用者・製作者による再現なので、一枚一枚の写真が何にも代えがたい説明となっています。

町民自らが民具を収集・整理・記録するという只見方式は、文化庁まで知られるようになってきました。平成九年六月には、文化庁の主任文化財調査官が只見町を視察し、民具そのものの資料価値はもとより、町民の手による調査カードの充実した内容に注目しました。それがきっかけとなって平成十五年、国



▲詳細に記録された民俗資料調査カード

指定重要有形民俗文化財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」二・三・三三点が誕生したのです。調査カードに込められた只見町の民俗や文化を、これから町の担い手となる子どもたちに伝えていくのは、只見町民の責務と言えます。日本一の「民具と調査カード」を後世に伝え、その価値を町内外に広めるためにも、収集・展示する施設の建設は急務です。

只見町は、今年ユネスコエコパークに登録される予定と聞いています。ブナ天然林に育まれた大自然の恵みを受けながら只見の民具は製作され継承されてきました。持続可能な地域発展をめざすユネスコエコパークにおいて、只見町の民具は祖先から受け継がれてきた誇りであり宝ともいえるものです。この民具が、只見町の民俗文化遺産として未来まで輝き続けてほしいと願っています。



▲カードに民具の思い出を記入する



# 町民文芸

## 只見短歌会

一月詠草

大塚栄一

指導

街中のポストの口に凍てつきし雪を払ひてはがきを落とす

古川 英子

秋更けて鶴の喉いっばいに鳴く声悲しき叫びにも似る

小倉キミ子

七草の足りなき粥に慣れしごと黙しつつ食む夫の目は笑む

新国由紀子

元日の未明に床に入りしがはや除雪車の音響きくる

渡部ゆき子

飴作る度に思へり砂糖さへ無かりし時代の飴の旨さを

馬場 八智

老多き集落なれば救急車の音の続くを落着かず聞く

関谷登美子

高齢者の集ひも嬉し久々に運動指導を受けて賑はふ

五十嵐夏美

グループホームに行きし末の子の眠りしか吹雪の音の激しくなりつ

渡部ヨリ子

降る雪の少なけれども寒くして蓄へ置きし野菜は凍る

新国 洋子

年明けてまた入院し亡き夫の居りしベッドに臥すに驚く

(出詠順)

## 只見俳句会

二月例会

目黒十一

指導

一点の灯を信じ冬の駅

洋子

雪も止みやつと見つけし古写真

敦子

父母ありて水飴囀む雪の夜

弾き初めの正気満ちたる四線かな

吉児

信号も見えず今宵の雪二尺

礼

串を抜く目刺目玉をこぼしけり

風呂吹きや自慢にしたる手製味噌

邦夫

青天や真中は我が雪の里

信

束の間の晴れや積もりし雪を掻く

理髪店へ行きやれと言う冬日和

笑羊

元気で笑顔が浮かぶ年賀状

又壺歩

虎落笛境に立てた竹の竿

小正月座敷童を迎えんと

リウコ

豆柿を餌に小鳥や深雪晴

邦男

房総の沖のはるかに初日の出

酷寒の朝や冷水飲み干して

都

はるかなる姉ありし日の成木責

藤彦

細雪眺めて飲むや夕餉時

年神へ御平を供え棚仰ぐ

一穂

氷柱嚙むふと友垣を懐かしむ

書初の火の用心くぼる両隣

寒の水する事多き主婦の城

嫁に継ぐ凍餅を編む藁を打つ



## 自動車事故被害者救済制度のお知らせ

### 1. 交通遺児等育成資金の貸付

対象者 自動車事故が原因で死亡又は重度の後遺障害が残った方の子で、中学校卒業までの方

貸付金額 一時金…155,000円 毎月…2万円

利子 「無」

貸付条件 市町村税が非課税または均等割のみ課税など

### 2. 重度後遺障害者への介護料支給

対象者 自動車事故により「脳」「脊髄」または「胸腹部臓器」に重度の後遺障害を持ち、自賠責保険の後遺障害等級が次に該当する方

I種(常時要介護)・・・1級1号または2号

(平成14年3月31日以前の事故は1級3号または4号)

II種(随時要介護)・・・2級1号または2号

(平成14年3月31日以前の事故は2級3号または4号)

支給額 特I種(最重度)・・・68,440円～136,880円

I種(常時要介護)・・・58,570円～108,000円

II種(随時要介護)・・・29,290円～54,000円

【お問合せ】 独立行政法人自動車事故対策機構 福島支所

Tel.024-522-6626 Fax024-522-6627

## 平成26年度東北地区国立大学法人等職員採用試験

### ○試験の日程

受付期間 4月1日(火)～4月15日(火)

東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会 HP 上の受付申込画面から申込み願います。

第1次試験日 5月18日(日)

試験の内容 教養試験(多肢選択式による筆記試験)

試験地 弘前市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市

(受験に便利な1都市を選んでください。)

第1次試験合格発表 6月17日(火)

### 職員採用合同説明

6月21日(土)仙台、6月23日(月)盛岡にて開催予定

第2次試験 6月30日(月)から開始

東北地区国立大学法人等各機関にて行います。

受験資格 昭和59年4月2日以降に生まれた者

※受験資格の詳細は下記HPをご参照願います。

### 試験区分

事務系区分と技術系区分があります。詳しくは東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会ホームページでご確認下さい。

問合せ先 東北地区国立大学法人等採用試験実務室  
Tel.022-217-5676(9:00～17:00 土日祝日除く)  
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/shiken/>

# お知らせ

# Information

## 電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議事事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	
	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

●農集排使用料

(3月分)

税 今月の納期

3月25日までに

納めましょう

# 国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、次のとおり国家公務員採用試験を実施いたします。

試験名	申込受付期間	第1次試験日
総合職試験 (院卒者・大卒程度試験)	【インターネット】4月 1日(火)9:00 ～4月 8日(火)[受信有効]	4月27日(日)
一般職試験 (大卒程度試験)	【インターネット】4月 9日(水)9:00 ～4月21日(月)[受信有効]	6月15日(日)
一般職試験 (高卒者試験)	【インターネット】6月23日(月) ～7月 2日(水) 【郵送・持参】6月23日(月)～6月26日(木)	9月 7日(日)

なお、申込方法や受験資格等の詳しい内容については、人事院ホームページ又は下記にお問い合わせください。

問合せ先: 人事院東北事務局 第二課 試験係 TEL(022)221-2022

人事院ホームページ[<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>]

## 町長の手帳

### 町長スケジュール (2月分)

- 2日 只見線活性化対策協議会(会津坂下町)
- 4日 当初予算町長査定
- 5日 新県立病院改革プラン検討委員会(福島市)
- 6日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、  
福島県土地連南会津支部総会  
南会津地方土地開発公社理事会、  
会津高原ふるさと推進協議会理事会  
南会津地方町村会総会・理事会、  
南会津地方環境衛生組合管理者会(南会津町)
- 7日 只見ふるさとの雪まつり雪像引渡式、  
柏市との懇談会
- 8日 只見町ふるさとの雪まつり開会式
- 9日 只見ふるさとの雪まつり(第2日目)
- 10日 南郷トマト生産組合総会・情報交換会(南会津町)
- 12日 庁議
- 13日 下北沢一番街商店街創立50周年式典(東京)
- 16日 只見町町民スキー大会、会津かねやま雪まつり  
(金山町)
- 18日 福島県国保連合会理事会(福島市)
- 19日 福島県林業公社理事会(福島市)
- 20日 観光まちづくり協合理事会、季の郷湯ら里取締役会
- 21日 只見川電源流域推進協議会打合せ
- 23日 青少年健全育成主張大会・標語表彰式、芸術文化  
賞・スポーツ優秀選手賞・町民文芸コンクール表彰  
式、からむし織の里雪まつり
- 24日 福島県市町村総合事務組合協議会定例会、福島県  
町村会役員会、南会津地方町村議会議長会懇談  
会(福島市)
- 25日 福島県町村会定期総会、福島県国保連合会通常  
総会(福島市)
- 26日 只見川電源流域振興協議会予算総会、  
奥会津5町村活性化協議会予算総会(金山町)
- 27日 南会津地方環境衛生組合協議会定例会(下郷)  
南会津地方広域市町村圏組合協議会定例会(南会  
津町)
- 28日 只見町議会2月会議、只見町議会全員協議会

### 「この冬に学んだこと」

冬の一大イベント会津地方の雪まつり、ソチオリンピック、関東・甲信越を襲った大雪と悲喜交々のうちに2月もあっという間に過ぎました。只見の雪まつりにおいては、素晴らしい大雪像とイベントで来場者を魅了し盛大に終える事が出来たことに町民の皆さまはじめご協力頂いた方々に感謝いたします。

オリンピックも選手の活躍に一喜一憂。15歳最年少でメダルを獲得したスノーボード選手、オリンピック7回目40歳代にして個人で初めてのメダルを獲得した伝説のスキージャンプ選手、メダル確実と言われながら手の届かなかった選手。あらためて人間の力の可能性の凄さと、結果が思い通りにいかない現実の厳しさを思い知らされました。今回は選手一人一人の競技に賭ける思いや生き方、人間性の素晴らしさそのものが伝わってきた、私にとって教えられることの多い大会だったと思います。

今年の只見は積雪も少なく、大過なく過ぎそうな様子にホッとしています。一方では、普段は雪の降らない地域で大雪に見舞われ復旧に手間取るなか、大変な苦勞と大きな被害を受けられた方もおります。大小を問わず、予期せぬ出来事に対処する準備と体制ができていなければ無力でしかありません。東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から3年が過ぎようとしています。お亡くなりになられた方々のご冥福を町民の皆さまと共に祈りたいと思います。

また、町においてもあらためて普段の準備と心構えが大切と肝に命じ、新年度に向かいたいと思います。

只見町長 目黒 吉久

# 町民の消息

(2月1日～2月28日届出分) 敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

山内 太郎 (男/隆行・あけみ) 大倉

## ■ご結婚おめでとうございます

黒谷 吉津 紘二♡只見 三瓶 佑美

## ■おくやみ申し上げます

渡部 ヨシ	94歳	小林 川
梁取 秀雄	70歳	小梁 黒
山内 登	87歳	福樺 杉
原田 玉恵	94歳	福大 長
大塚 サダ子	81歳	福大 長
皆川 タカネ	102歳	福大 長
星 一郎	70歳	福大 長
五十嵐 文和	85歳	福大 長
横田 ハナ	94歳	福大 長
目黒 アサ	97歳	福大 長
皆川 フサノ	97歳	福大 長
小沼 秋子	80歳	福大 長
目黒 京子	82歳	福大 長

# 人のうごき

平成26年2月1日現在

人口	4,645(-14)
男	2,254(-8)
女	2,391(-6)
世帯数	1,810(-5)
高齢化率	42.5%

※高齢化率とは、65歳以上の方が人口に占める割合です。

転入 2 転出 14 出生 1 死亡 5

▽雪まつりが終わると春はすぐそこ」と言うのが只見だったはずなのですが、2月の大雪には驚かされました。全国的な大雪で交通機関は麻痺し生活に大きな支障を及ぼしました。南会津でも道路が雪で通行止めになるなどし、短期間で降る雪の量としては近年で一番だったのではないのでしょうか。▽ソチオリンピックでは、羽生選手や平野選手など10代の活躍が目立ちました。福島近郊の宮城や新潟出身である彼らの活躍は心から嬉しかったです。

(吉津)

## あとがき

## 町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまわりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

地区センター長  
馬場 博美

只見地区センター  
図書室 ☎82-2141

# おすすめ新着図書

## ★くだもの



平山和子 著  
(福音館書店)

甘い香りが漂ってきそうなほど、細部までていねいに描かれた果物たちに思わず手を伸ばしたくなる。淡い光をあてたようなふんわりとした描き方が、ただリアルなだけではないやさしい雰囲気を作っている。食べることへの興味を存分に引き出してくれます。只見地区センターにはそのほかにおにぎり、やさいの絵本が入りました。どうぞ、ご利用ください。

## ★昭和の犬



姫野カオルコ 著  
(幻冬舎)

ひとりの女性の45年余の歳月から拾い上げた写真のように、昭和から平成へ日々が移ろう。ちょっとうれしいこと、すごくかないしいこと、小さなできごととそばにそっといる犬と猫。『リアル・シンデレラ』以来となる、姫野カオルコ待望の長編小説です。

## ★穴



小山田浩子 著  
(新潮社)

仕事を辞め、夫の田舎に移り住んだ夏。見たことのない黒い獣の後を追ううちに、私は得体の知れない穴に落ちる。夫の家族や隣人たちも、何かがおかしい。平凡な日常の中にときおり顔を覗かせる异界。『工場』で新潮新人賞・織田作之助賞をダブル受賞した著者による待望の第二作品集。芥川賞を受賞した表題作ほか二篇を取録しています。

## キタゴヨウ

(学名: *Pinus parviflora* var. *pentaphylla*)

[ マツ科 マツ属 ]



キタゴヨウは、只見町の全域に分布しています。雪食地形の尾根に馬のたてがみの様に筋状に生えている様子はとても特徴的です。年中見られる風景ではありますが、もしこの樹木がなければ、雪山はもっとのっぺりとした景観になってしまうでしょう。

キタゴヨウは、北海道南部、本州、四国、九州と全国に広く分布するゴヨウマツの変種であり、北海道と本州の中部地方以北のみに分布します。

一般的には亜高山帯の尾根や岩場などに生育しますが、只見町のような山地帯であっても、土壌が薄く他の植物が生えることができないような岩石地に分布していることがあります。高木の針葉樹で、高さ20~30mに幹が直立し、幹の直径は60~120cmほどになります。細長い針のような葉が5個ずつ束になって生えることからゴヨウという名前が付いています。キタゴヨウは、ゴヨウマツが葉の長さが4~8cmであるのに対して、6~10cmと長い点で異なります。

只見町では、ヒメコ、クロマツという方言名がついています。材は、薪炭材や梁や柱、敷板として用いられたほか、ゲンベエを編む際の型、川を堰き止めるためのカリヤスの材料になっていたそうです。「松迎え申し」として年の瀬に山の頂から迎えてきたマツは、正月の松飾りとして使われてきました。

ブナセンター講座

### 「八十里古道の歴史」

2014年3月23日(日) 午後1時30分~午後3時  
講師: 飯塚 恒夫 氏(只見町文化財調査委員)

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています



わたなべ ひさき  
渡部 妃咲さん(黒谷)



ますだ たくみ  
増田 巧くん(小川)



さいとう はく  
齋藤 珀くん(只見)

虫歯のない子  
  
 (2月25日)  
 (3歳児健診)